

花尻町内新聞

発行責任者 赤井和彦
編集責任者 楠木忠司

花尻町内会 防災教室を開催!!

花尻少年消防クラブ入退団式が終わった後、午前10時40分より町内会主催「防災教室」を開催しました。

今回は、従来の起震車、水消火器による消火体験、消防自動車の性能説明に加え、震災のパネル展示、煙の中を逃げる煙道体験、起震車での地震体験、ロープでの救助体験、これには消防署のスーパーレスキュー隊の方が参加されました。

いつものように起震車は大賑わい、震度7の地震を体験しました。

煙道体験は、煙の中を逃げる体験で、逃げる方向がわからず四苦八苦している子どももいました。

水消火器の取り扱い体験では、的をめがけて放水していました。

ロープでの救助訓練では、参加者がヘルメット、安全ベルトを着用し、車で張られた約5mのロープを渡る訓練です。消防職員の方に援助受けながら頑張っていました。



ロープでの救助訓練では四苦八苦しました(写真上)と起震車での地震体験



ウォーターパッカー車で次々と作られる飲料水 東日本の被災地にも派遣されました



綿菓子。ポップコーンは大繁盛

午前8時30分から開会式、冒頭に、東日本大震災で犠牲になった方々に対し、全員で黙祷を行ったのち、開会式に入りました。



きびきびした動きで頑張った分団の皆様

第3回岡山市消防団西部地区 線法訓練大会が開催される

東日本大震災から丁度1年に当たる3月11日(日)、撫川グラウンドにおいて、第3回岡山市消防団西部地区線法訓練大会がポンプ車線法の部は8分団、小型ポンプの部は13分団が参加しました。白石分団は小型ポンプの部で出場しました。



8名が参加した防犯パトロール

8名が参加し防犯パトロールを行う!

3月17日(土)午後8時より、みどり町・体協役員8名が参加し、防犯パトロールを行いました。責任者の話を聞いた後、

約50分でききょう公園に到着しました。参加された皆さん、ご苦労様でした。

パソコン教室を開く

3月18日(日)午後1時より14名が参加しパソコン教室を開催しました。この度は、ワードの使い方を勉強しました。



熱心に勉強する参加者の皆さん

少年消防クラブ 入退団式を行う

3月10日(土)、午前10時より町内集会所において、花尻少年消防クラブ入退団式が子ども達43名を始め、西消防署、花尻消防団、町内会三役、育成会役員等約70名が参加して開催されました。

式は、昨年3月11日に発生した東日本大震災で犠牲になられた方々に黙祷を行いました。



退団する6年生には記念品が渡されました

力強く「誓いのことば」を読み上げる6年生の2人

続いて、花尻消防団の赤井直泰さんより挨拶がありました。次に、少年消防クラブを退団する6年生の代表者山本七海さん、驚原優香さんに消防署の方から記念品が贈られました。続いて、司会者から新入団員(4年生)

3月4日(日)、午前10時より陵南コミュニティハウスにて陵南区婦人会主催の「友愛訪問会食と演芸」を開催しました。友愛訪問は、70才以上の一人暮らしの方々をご招待し、楽しい一時を過ごしていただく催しです。

まず、民生委員の小塚さんの開会の言葉で始まり、演芸に入りました。最初は花尻子ども会6年生6人による「銭太鼓」、

演目はきよしのフンドコ節とそれから音頭、夏まつり以来の演技ですが、良く揃った演技に惜しみない拍手が送られました。「椅子に座って出来るストレッチ」を始め、素晴らしい音声を披露した「民謡」「音楽でコミュニケーション」等々々と演芸が披露されました。



婦人会の方が作った手料理を美味しくいただきました

また、玄関や階段、2階のロビーには「雛人形」



玄関ロビーには90年前の雛人形も飾られていました(白石 板野典子さん所有)

陵南区婦人会 友愛訪問会食会と演芸を盛大に開催!

「パッチワーク」「写真」「生花」「絵手紙」「編み物」など所狭しと飾られていました。中でも約90年前の雛人形が飾られ、参加者の方も感慨深げに見つめていました。

その後、婦人会の皆さんの手料理(ごはん、豚汁、おはぎ)が振る舞われ、みんなでお話いただきました。準備から運営、後片づけまでお世話いただいた婦人会の皆さん、ご苦労様でした。

吉備中学校の卒業生は293名

吉備中学校の卒業式は、3月14日(水)に厳粛に執り行われました。

午前10時には全員が整列し、開式の辞、国歌斉唱、校歌斉唱に続き、卒業証書授与式に移り、一人ひとりに担任の先生より卒業証書が手渡されました。

続いて、横山校長より「283名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。様々な学習と体験を重ね、悩みや困難を克服し、乗り越えてきた三年間、ありがとうございました。皆さんは在学中、特に三年生になってからは、学校のリーダー役として様々な場面で活躍しました。どれ一つとっても、一・二年生の手本となる素晴らしい活動だったと頼もしく感じました。さて、未曾有の被害をもたらせた東日本震災から1年が過ぎました。色々なことを思い、感じた1年間であったと思います。本校も微力ではありますが、交流や支援活動に参加しました。これから皆さんは自分が選んだ道を進みます。他人の痛みがわかる人であって欲しいと思います。そのためにも



担任の先生より一人ひとりに卒業証書が渡されました

しっかり勉強をして、色々な力を身につけて下さい。ひと休みしたくなったら、この三年間で出会った仲間や先生の顔を思い出して下さい。きっと力が湧いてくると思います。」との式辞がありました。

その後、教育委員会事務課、祝電披露、PTA会長はなむけのことはと続きました。

次に在校生を代表して福島有希さんより「私達にとって先輩方の存在は私達の目指すべき目標でした。今、先輩方の活躍された姿が数々の思い出となって蘇ってきます。最後まであきらめずやり抜くことの大切さを教えていただきました。私達たちは先輩方と過ごした日々を忘れません。先輩方から教えていただいたことを胸に、これまで築いてこられた吉備中学校の伝統を今度は、私たちが受け継いでいきます。これから、先輩方は大きな希望と夢を胸に描き、新しい世界に羽ばたいて行かれます。その前途には喜びや出会いがある反面、不安や困難が待ち受けているかもしれない。そんなときは吉備中学校での三年間を思い出して下さい。どんな困難も乗り越え、夢に向かって進んで行かれることと信じています。」との送辞が述べられました。

続いて、卒業生を代表して、福田隆成君より「色々な経験を重ね、私たちは3年生になりました。一日一日を大切にしようと思いを新たにしました。最高の思い出になった修学旅行、長崎で誓った平和宣言は社会



最後の校歌を歌う卒業生

の進路について真剣に考えて下さった先生、お互い励まし合った友達、最後まで一緒に悩んでくれた家族、みんなに支えられてきたことをこれからも忘れません。東日本震災から丁度1年が過ぎました。日本は確実に復興に近づいています。一人ひとりの命の尊さも日本人の絆の強さを後世に伝えていかなければなりません。私達はそれぞれの道へと進んでいきます。楽しかったこと、悲しかったことがえのない日々、この吉備中学校で生まれた絆を大切にしたい。私達は吉備中学校を旅立ちます。」との答辞がありました。

続いて、卒業の歌、校歌を全員で歌い、最後に保護者を代表して絹川さんより謝辞があり、卒業生が拍手で退場し、約1時間で卒業式は終わりました。

陵南幼稚園から59名が巣立つ

陵南幼稚園第29回卒業証書授与式は3月15日(木)に行われました。

卒業する園児が拍手の中、入場、そして、ピアノに合わせておじぎをしました。次に、先生から名前を呼ばれ、元気な声で「ハイ」と返事をし、藤村園長先生より一人ひとりに卒業証書が渡されました。

続いて、藤村園長先生より「心も体もこんなに大きくなりました。挨拶も元気がいっぱいできるようになりました。運動会では東日本の人々や見に来てくれた方々の元気にしたいと日本の踊りやお祭りを一生懸命

の進路について真剣に考えて下さった先生、お互い励まし合った友達、最後まで一緒に悩んでくれた家族、みんなに支えられてきたことをこれからも忘れません。東日本震災から丁度1年が過ぎました。日本は確実に復興に近づいています。一人ひとりの命の尊さも日本人の絆の強さを後世に伝えていかなければなりません。私達はそれぞれの道へと進んでいきます。楽しかったこと、悲しかったことがえのない日々、この吉備中学校で生まれた絆を大切にしたい。私達は吉備中学校を旅立ちます。」との答辞がありました。

続いて、卒業の歌、校歌を全員で歌い、最後に保護者を代表して絹川さんより謝辞があり、卒業生が拍手で退場し、約1時間で卒業式は終わりました。

陵南小学校の卒業生は147名



中井校長先生より卒業生一人ひとりに卒業証書が手渡されました

陵南小学校の卒業式は、3月19日(月)午前10時より厳粛に行われました。

卒業生が入場した後、開会のことは、国歌斉唱と続き、一人ひとりの名前が呼ばれ、中井校長先生より147名の卒業生に卒業証書が手渡されました。

次に、中井校長先生より「147名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。6年間を振り返った今、心に浮かぶことは何でしょう。楽しいことも、嬉しいことも、苦しいことも、いつも仲間とともに体



家族のひとと手をつないでアーチをくぐりました

分で考え、行動する力を育ててきたのです。今から歩む人生も、多くの人に支えられていることを胸に、凛とした陵南っ子として育った自信を持ち、安心して歩んでください。」とのはなむけの言葉が贈られました。

続いて、高谷市長から「皆さんは小学校入学以来、この6年間に心も体も随分立派に成長されました。皆さんの物事が身に付き、感じ取る力、考える力、友達と支え合って頑張る力を整えられました。何事にもくじけることなく立ち向かっていって欲しい。」とのお祝いの挨拶がありました。

次に、西谷PTA会長からも挨拶が述べられました。続いて、卒業生からは6年間の思い出が、在校生からはお礼と励ましが、歌とことばで表現されました。



アンパンマン体操を踊る4名の幼児

お問合わせは、次期「はとほっぽ班」班長の仲森さん(電話 〇九〇一七八九一一一八五)です。たくさんの方の参加をお待ちしています。



「はなむけの言葉」を述べる中井校長先生

「お祝いの言葉」を述べる高谷岡山市長



4・5年生や先生、地域の人に見送られた卒業生

「はなむけの言葉」を述べる中井校長先生

「お祝いの言葉」を述べる高谷岡山市長



素晴らしかったお別れの歌と言葉の卒業生の皆さん

「はなむけの言葉」を述べる中井校長先生

「お祝いの言葉」を述べる高谷岡山市長

「お祝いの言葉」を述べる高谷岡山市長

「お祝いの言葉」を述べる高谷岡山市長

「お祝いの言葉」を述べる高谷岡山市長

陵南つぼみ会 第23期卒会を行う!

3月4日(日)午前10時より、陵南幼稚園にて、第23期陵南つぼみ会卒会式が行われました。

「はとほっぽ班」からは岡田天ちゃん、平田絢華音ちゃん、三宅啓太くん、吉田絢音ちゃんの4人が参加しました。

おそろいの衣装を身にまとった4人は「パンやさんにおかいもの」「アンパンマン体操」の2曲に合わせて歌と踊りを元気に披露。練習してきた成果を十分に発揮し、最初から最後まで笑顔いっぱい寝ることができ、会場を沸かせました。

来年度の「はとほっぽ班」は「なかよし班」との合同となり、月2回程度白石公



最後に4人で記念撮影をしました